



脱炭素社会の実現に向けた取組みを進める株式会社野原商会を  
「脱炭素経営コンサルティング」によりサポート

商工中金は、ソリューション提供などの取組みを通じて、中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を積極的にサポートしています。

商工中金（北九州支店）は、株式会社野原商会（本社：福岡県北九州市、代表者：野原 和彦）に脱炭素経営に関する支援サービスを、パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社と連携し、提供しました。

同社は、産業廃棄物の中間処理やリサイクル事業を手掛け、再生可能エネルギーの採用やEVの導入等、脱炭素社会の実現に向け積極的に取り組んでいます。

今回同社は、社会やサプライチェーンからの求めに対応し、脱炭素経営を一層推進するため、Scope3（※1）の算定を含む2030年に向けた脱炭素化計画の策定と、中小企業版 SBT 認証（※2）の取得を計画しました。

（※1）Scope3：事業者自ら排出している温室効果ガスである Scope1, 2 以外の事業者の活動に関連する他社の温室効果ガスの排出量

（※2）SBT 認証とは、温室効果ガス排出量削減に対する国際認証

商工中金は、現地訪問による調査及び関係者へのインタビューを行いながら、Scope3 を含む CO2 排出量の可視化および SBT 申請に必要なデータの整備、2030 年の削減目標達成に向けたロードマップ・計画策定、そして SBT 申請手続き等をサポート。今般、同社は SBT 認証の取得に至りました。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社野原商会の概要】

所在地	福岡県北九州市門司区新門司3-25
代表者	野原 和彦
業種	産業廃棄物処理業
資本金	3,300万円
従業員数	25名（2024年4月時点）
設立	1969年12月

【本社】

